

スチール缶は  
資源リサイクルセンター  
で風力を利用して  
選別しているのよ。



こたえ



「くらしとごみ」11ページの  
☒を見て考えてみましょう。



ここが  
ポイント!



収集された缶・びん・ペットボトル

異物を手でとりのぞきます



異物を手で取りのぞく作業

スチール缶は大きな  
磁石で集めます

風力で重いびんと軽いアルミ缶・ペットボトルに分けます

スチール缶



びん



アルミ缶とペットボトル

機械でアルミ缶と  
ペットボトルに分けます

こたえは  
磁石!  
材質の特徴を  
生かしている  
のですね!



大きな磁石でスチール  
缶を集める機械

色ごとに  
分けます

アルミ缶

ペットボトル



リサイクル工場へ運びます



「くらしとごみ」には、むずかしくて載せなかったけれども、「アルミ缶」と「ペットボトル」は、電気と磁石の力を合わせて使って分けています。この技術は、IH調理器や電車のブレーキにも使われているんですよ。

ちょっと  
むずかしい  
はなし



かいせつ  
するよ!



まちがえちゃった人、3年生で学習した磁石を思い出してね。スチール缶は磁石にくっつくので、大きな磁石で集めます。そのあと、そのほかの重いびんと、軽いアルミ缶やペットボトルとは、風力で分けます。それぞれの材質や重さなどをうまく利用して、分けているんですよ。